

「山のふるさと村で学ぶ！野生動物の食害と生態系への影響、その対策」  
～多様な生物をはぐくむ健全な生態系の重要性について学ぶ～

平成28年3月

## 平成27年度 テーマ別環境講座（第5回） 実施報告

### 「山のふるさと村で学ぶ！野生動物の食害と生態系への影響、その対策」 ～多様な生物をはぐくむ健全な生態系の重要性について学ぶ～

□実施日 平成28年3月18日(金)、23日(木) 全2日間

□受講者数 定員50名、受講申込者 33名 受講決定者 33名

#### □実施内容

【第1日目（3月18日 金曜日 午後）】講義（出席者数 29名）  
（東京都庁第二本庁舎1階ホール）

#### ○挨拶等

- ・事務局（研究所）から受講上の注意、資料確認、全体スケジュール等
- ・環境局環境政策課長より開講挨拶及び本講座の目的等について

#### ○講義

☆「野生動物と人との関わり：鳥獣害や生態系への影響を中心に」

（講師）首都大学東京 准教授 博士 沼田 真也

#### （講義内容概略）

- ・日本の自然環境と哺乳類  
日本列島は南北に3,000 kmと長く、亜寒帯から亜熱帯まで100種類強の哺乳類が生息しており、うち固有種は3割、7属の固有属が存在している。
- ・日本の生物多様性の危機  
人間活動や開発が直接的にもたらす種の減少・絶滅や生息・生育空間の縮小、消失
- ・野生の哺乳類にとっての脅威  
狩猟・導入種・生息地の破壊
- ・野生動物と人間の軋轢  
森林の変遷・ニホンオオカミの絶滅・ニホンジカの変遷・ブナの豊凶とクマによる人身被害  
人間による管理：狩猟者数の推移



☆「東京都レンジャーの活動と奥多摩の野生動物の現状について」

（講師） 東京都レンジャー 三好 和貴

（講義内容概略）

- ・ 東京都の哺乳類—哺乳類の生息を知る方法—野生動物のフィールドサイン
- ・ ニホンジカ—多摩地域のニホンジカ
- ・ ニホンジカによる問題—シカ剥ぎ、ディアライン、角研ぎ、土砂の崩壊、不嗜好性植物の増加
- ・ 対策—進入防止柵の設置、捕獲

☆「シカとの共生に向けて～個体数調整の現実～」

（講師） 奥多摩町有害鳥獣捕獲隊 甲把 収

（講義内容概略）

- ・ 狩猟者の減少と高齢化
- ・ 銃猟による捕獲隊へのハードルの高さ
- ・ 捕獲の方法
- ・ 人による個体数の調整は必要か？—ニホンオオカミの役割、植生は全ての動物の生存基盤

☆「多摩地域における自然公園の現状と課題」

（講師） 東京都環境局多摩環境事務所自然環境課職員

（講義内容概略）

- ・ 自然公園における保護と利用の仕組み
- ・ 東京の自然公園—多摩地域における自然公園の現状と課題
- ・ 東京都レンジャー



平成27年度 テーマ別環境講座（第5回） 実施報告

○事務局（研究所）からの2日目の現地視察に関する注意事項、事務連絡後、終了。解散

【第2日目（3月23日水曜日 1日）】 現地調査・講義・視察（出席者数 21名）

JR奥多摩駅10時30分集合 借り上げバスで山のふるさと村へ

○挨拶等

・事務局（研究所）からの注意、スケジュール等

（視察内容概略）

☆山のふるさと村まででバスで移動⇒キャンプ場サービスセンター集会室で山のふるさと村の説明⇒レストランに移動し昼食⇒受講生5人を4班に分け、東京都レンジャーに引率され鹿の食害の様子を見学⇒ビジターセンター前に戻り、補足説明と受講者からの質問を受ける。

借り上げバスで山のふるさと村へ到着



案内をしていただく東京都レンジャーの紹介

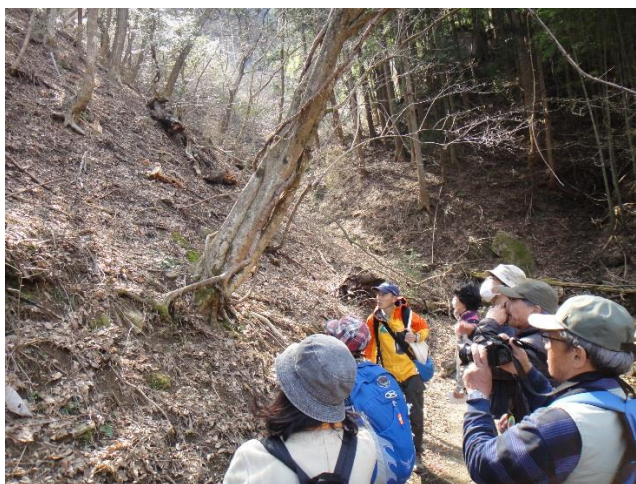


キャンプ場サービスセンター集会室での説明



班毎に東京都レンジャーの説明を受け山の中へ





ビジターセンターに戻り補足説明



○事務局から終了の挨拶、アンケート記入回収後、奥多摩駅まで借り上げバスで移動し解散。